

京都市におけるP R T R法に基づく届出（平成20年度データ）の集計結果について

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下、「P R T R法」という。）では、業種や従業員数等の一定要件を満たす事業者は、毎年、前年度に各事業所で取り扱った化学物質について、大気や河川等の環境中へ排出する量及び廃棄物等として事業所外へ移動する量を把握し、届け出を義務付けています。

このたび、平成21年度に京都市内の事業所から届出があった「平成20年度の化学物質の排出量等」の集計結果を下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 P R T R法の目的

国及び自治体が、人の健康や動植物に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質の環境への排出量を把握し公表することにより、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、化学物質による環境汚染を未然に防止することを目的としています。

2 事業所からの届出状況

(1) 行政区・業種別届出件数

京都市内の254事業所から届出がありました。届出件数の内訳は、表-1（次ページ）に示すとおりです。行政区別では、南区の66件が最も多く、次いで、伏見区の49件、右京区の34件の順となっています。業種別では、燃料小売業（ガソリンスタンド）の113件が最も多く、次いで、製造業の86件の順となっています。

表－1 行政区・業種別の届出件数

業種名	行政区											
	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計
製造業	2	2	0	6	2	10	1	35	16	0	12	86
食料品製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
繊維工業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	5
家具・装備品製造業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷・同関連産業	0	0	0	2	0	0	0	2	4	0	2	10
化学工業	1	0	0	1	1	2	0	9	2	0	4	20
医薬品製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	4
窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
非鉄金属製造業	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
金属製品製造業	0	1	0	0	0	2	0	8	2	0	2	15
一般機械器具製造業	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	2	0	6	4	0	0	12
輸送用機械器具製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	4
精密機械器具製造業	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	4
医療用機械器具・医療用品製造業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	5
石油卸売業	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	4
自動車卸売業	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
燃料小売業	5	8	12	4	0	14	14	16	11	3	26	113
洗濯業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
自動車整備業	1	1	1	2	0	1	0	10	4	0	4	24
商品検査業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計量証明業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
一般廃棄物処理業	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	2	6
産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
特別管理産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
高等教育機関	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	0	5
自然科学研究所	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
合計	8	12	18	14	2	29	17	66	34	5	49	254

(2) 届出された物質

P R T R法の届出対象である 354 物質のうち、110 物質について届出があり、1 事業所当たりでは平均 4 物質となっています。

届出数が最も多かった物質は、トルエンの 151 件で、次いでキシレンの 149 件、エチルベンゼンの 121 件、ベンゼンの 112 件の順となっており、主に塗料等の溶剤やガソリン中に含まれています。

3 届出排出量及び移動量の集計結果

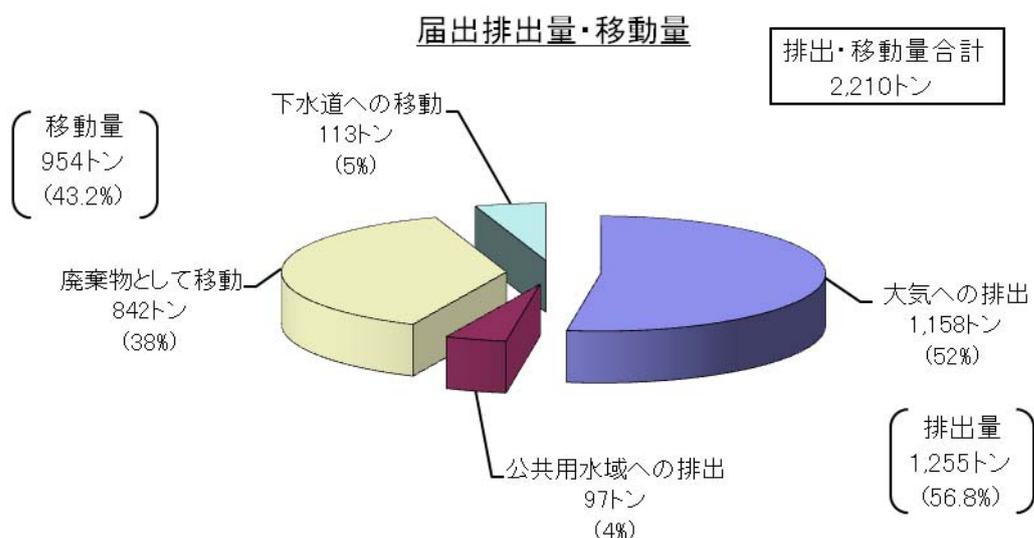
(1) 全事業所及び全物質の排出量・移動量

届出のあった排出量・移動量の合計は 2,210 トンであり、そのうち大気や公共用水域への排出量は 1,255 トン（排出量・移動量合計の 56.8%）、廃棄物や下水道への移動量は 954 トン（同 43.2%）となっています。

排出量の内訳は、大気への排出量が 1,158 トン（排出量の 92.3%）、公共用水域への排出量が 97 トン（同 7.7%）となっており、大部分が大気への排出となっています。

また、移動量の内訳は、廃棄物としての移動量が 842 トン（移動量の 88.2%）、下水道への移動量が 113 トン（同 11.8%）となっており、大部分が廃棄物としての移動となっています。

図-1 届出排出量・移動量の内訳

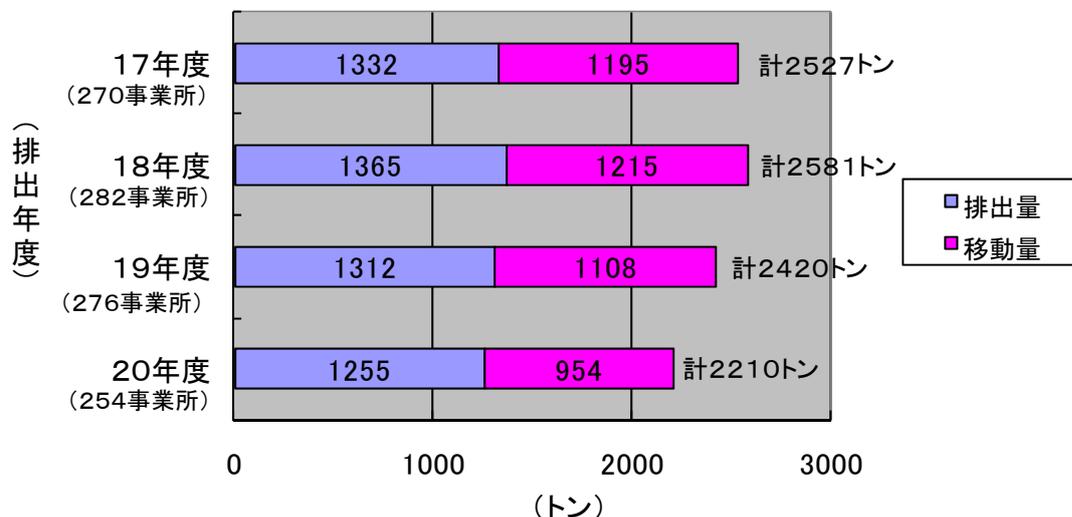


※排出量・移動量の値は、端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(2) 届出排出量・移動量の経年変化

前年度と比較すると、届出事業所数は22件減少し、大気や公共用水域への排出量は57トン、廃棄物や下水道への移動量は154トン減少しています。

図-2 届出排出量・移動量の経年変化



※()内は届出事業所数を示す。

※排出量・移動量の値は、端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(3) 大気への排出量が多かった物質

排出量のうち、大気への排出量が多かった上位5物質は、表-2に示すとおり、トルエン、キシレン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、エチルベンゼンの順となっています。これらの物質の大気への排出量の合計は、1,093トンであり、大気への排出量全体の94.3%を占めています。

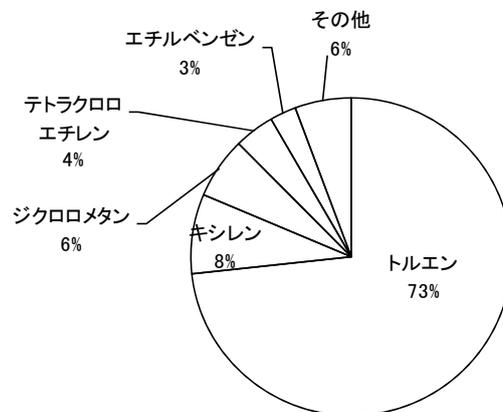


表-2 上位5物質の大気への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	トルエン	849 トン	合成原料, ガソリン成分, 溶剤
2	キシレン	94 トン	合成原料, ガソリン・灯油成分, 溶剤
3	ジクロロメタン	72 トン	洗浄剤, 溶剤
4	テトラクロロエチレン	47 トン	ドライクリーニング溶剤, 洗浄剤
5	エチルベンゼン	31 トン	合成原料, ガソリン成分, 溶剤
上位5物質合計		1,093 トン	—
総計		1,158 トン	—

(4) 公共用水域への排出量が多かった物質

排出量のうち、公共用水域（河川）への排出量が多かった上位5物質は、表-3に示すとおり、ふっ化水素及びその水溶性塩、ほう素及びその化合物、亜鉛の水溶性化合物、マンガン及びその化合物、銅水溶性塩の順となっています。

これらの物質の公共用水域への排出量の合計は、96トンであり、公共用水域への排出量全体の98.5%を占めています。

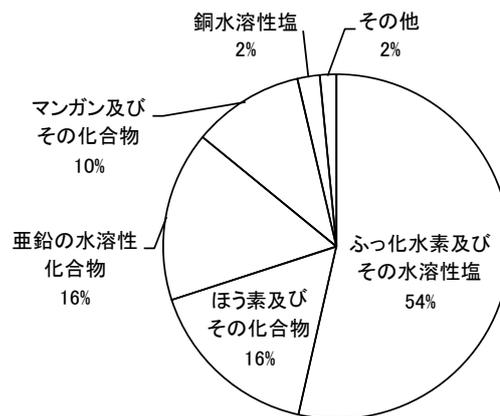


表-3 上位5物質の公共用水域への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	ふっ化水素及びその水溶性塩	52 トン	半導体や金属の研磨
2	ほう素及びその化合物	16 トン	電子工業, ガラス原料
3	亜鉛の水溶性化合物	16 トン	金属表面処理, 乾電池
4	マンガン及びその化合物	10 トン	鋳造, 電池
5	銅水溶性塩	2 トン	メッキ, 農薬原料, 電池
上位5物質合計		96 トン	—
総計		97 トン	—

(5) 廃棄物としての移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、廃棄物としての移動量が多かった上位5物質は、表-4に示すとおり、トルエン、N,N-ジメチルホルムアミド、エチレングリコール、キシレン、ジクロロメタンの順となっています。

これらの物質の廃棄物としての移動量の合計は、723トンであり、廃棄物としての移動量全体の85.9%を占めています。

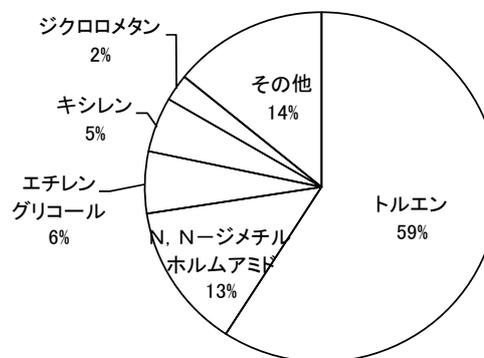


表-4 上位5物質の廃棄物としての移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	トルエン	498 トン	合成原料, ガソリン成分, 溶剤
2	N,N-ジメチルホルムアミド	113 トン	溶剤, 試薬
3	エチレングリコール	48 トン	不凍液, ポリエステル繊維原料
4	キシレン	43 トン	合成原料, ガソリン・灯油成分, 溶剤
5	ジクロロメタン	21 トン	洗浄剤, 溶剤
上位5物質合計		723 トン	—
総計		842 トン	—

(6) 下水道への移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、下水道への移動量が多かった上位5物質は、表-5に示すとおり、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル、N,N-ジメチルホルムアミド、メタクリル酸、ホルムアルデヒド、1,3-ジクロロ-2-プロパノールの順となっています。

これらの物質の下水道への移動量の合計は、106トンであり、下水道への移動量全体の94.5%を占めています。

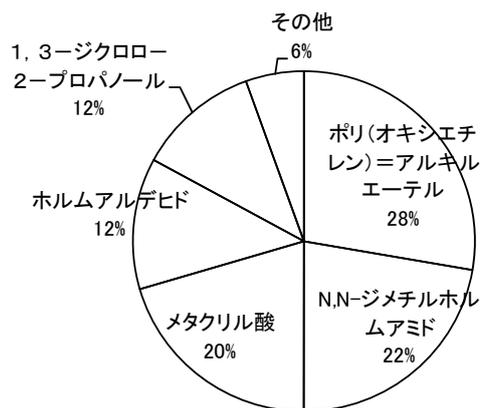


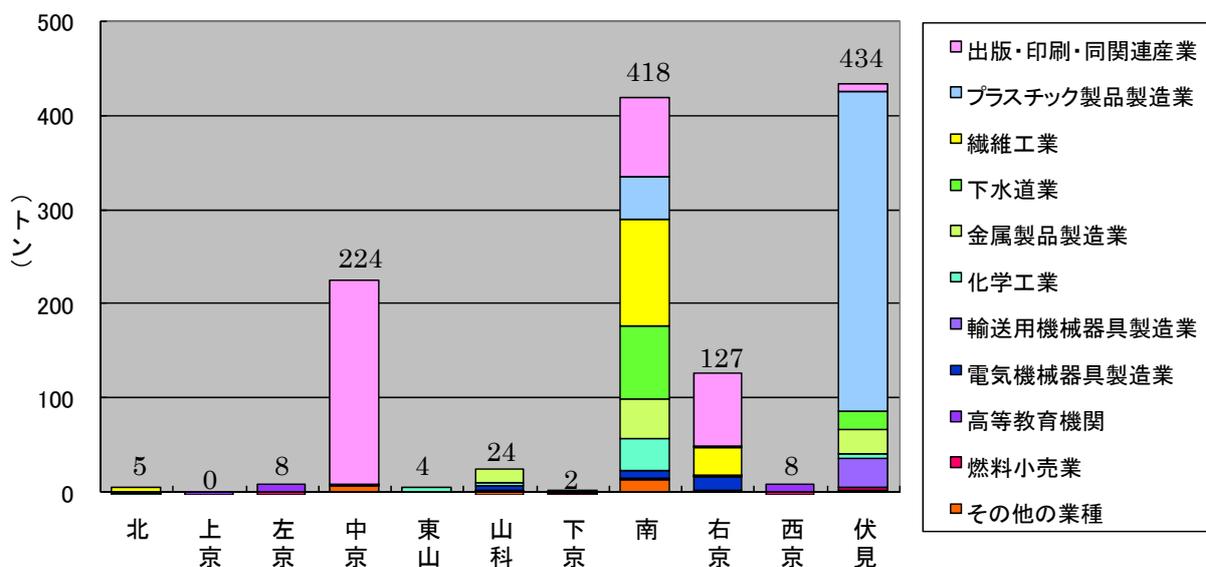
表-5 上位5物質の下水道への移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	31 トン	界面活性剤, 乳化・分散剤
2	N,N-ジメチルホルムアミド	25 トン	溶剤, 試薬
3	メタクリル酸	23 トン	重合原料, 加工剤
4	ホルムアルデヒド	14 トン	重合・合成原料
5	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	13 トン	溶剤, 合成中間体
上位5物質合計		106 トン	—
総計		113 トン	—

(7) 行政区・業種別排出量

排出量の内訳は、表-6(次ページ)に示すとおりです。行政区別では伏見区の434トンが最も多く、次いで南区の418トン、中央区の224トンの順となっています。業種別では出版・印刷・同関連産業の387トンが最も多く、次いでプラスチック製造業の385トン、繊維工業の149トンの順となっています。

図-3 行政区別の排出状況(業種内訳)



*業種別の内訳については、排出量の多い上位10業種以外は「その他の業種」でまとめています。

表-6 行政区・業種別の排出量

単位：kg/年

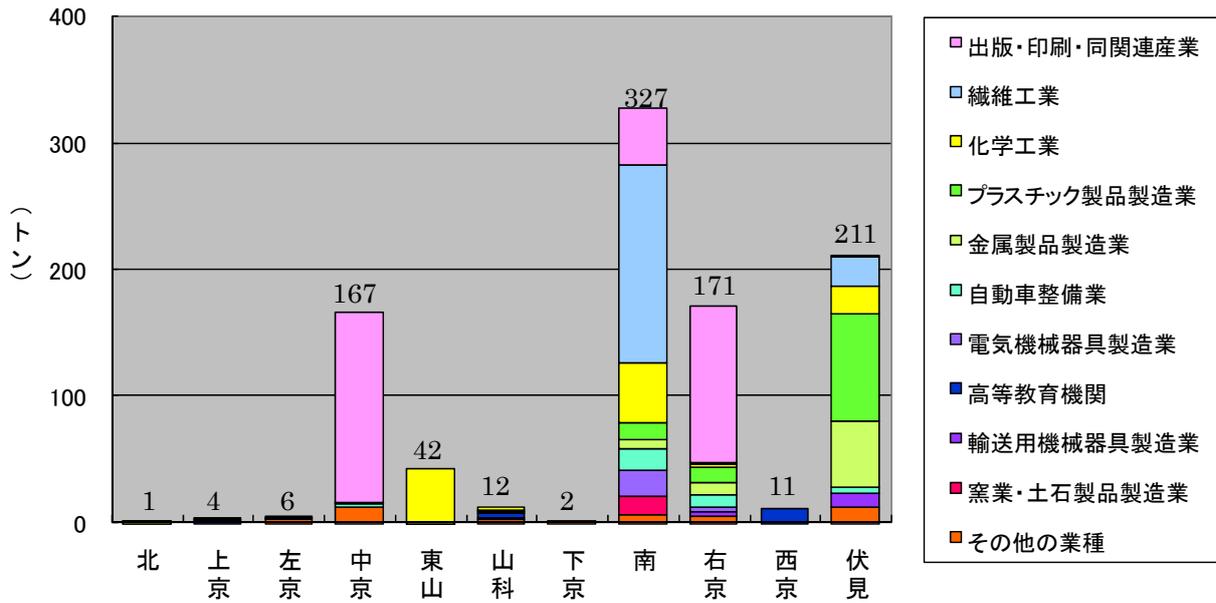
業種別	行政区	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業		4,811	0	0	223,712	4,476	23,152	1,000	333,854	125,526	0	412,005	1,128,537	89.9%
食料品製造業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
繊維工業		4,800	0	0	0	0	0	1,000	112,800	30,000	0	0	148,600	11.8%
家具・装備品製造業		0	0	0	0	0	0	0	3,100	0	0	0	3,100	0.2%
出版・印刷・同関連産業		0	0	0	216,000	0	0	0	84,400	78,340	0	8,200	386,940	30.8%
化学工業		11	0	0	212	4,476	3,236	0	34,187	10	0	5,665	47,798	3.8%
医薬品製造業		0	0	0	0	0	240	0	0	0	0	0	240	0.0%
プラスチック製品製造業		0	0	0	0	0	0	0	45,200	229	0	340,000	385,429	30.7%
窯業・土石製品製造業		0	0	0	0	0	0	0	1,320	0	0	0	1,320	0.1%
非鉄金属製造業		0	0	0	0	0	46	0	57	0	0	0	103	0.0%
金属製品製造業		0	0	0	0	0	14,000	0	41,500	706	0	24,640	80,846	6.4%
一般機械器具製造業		0	0	0	1,900	0	0	0	2,000	0	0	0	3,900	0.3%
電気機械器具製造業		0	0	0	0	0	5,630	0	8,300	15,700	0	0	29,630	2.4%
輸送用機械器具製造業		0	0	0	0	0	0	0	0	541	0	31,300	31,841	2.5%
精密機械器具製造業		0	0	0	5,600	0	0	0	990	0	0	0	6,590	0.5%
医療用機械器具・医療用品製造業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他の製造業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,200	2,200	0.2%
下水道業		0	0	0	0	0	0	0	77,536	0	0	19,622	97,158	7.7%
石油卸売業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0.0%
自動車卸売業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
燃料小売業		369	372	835	263	0	1,276	749	1,243	1,003	315	1,932	8,356	0.7%
洗濯業		0	0	0	0	0	0	0	880	0	0	0	880	0.1%
自動車整備業		0	0	0	0	0	0	0	4,800	0	0	0	4,800	0.4%
商品検査業		0	0	0	110	0	0	0	0	0	0	0	110	0.0%
計量証明業		0	0	0	224	0	0	0	0	0	0	0	224	0.0%
一般廃棄物処理業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
産業廃棄物処理業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
高等教育機関		0	2	7,200	0	0	13	0	0	0	7,990	0	15,205	1.2%
自然科学研究所		0	0	0	0	0	0	0	70	0	0	0	70	0.0%
合計		5,180	374	8,035	224,310	4,476	24,441	1,749	418,383	126,528	8,305	433,562	1,255,342	100.0%
割合		0.4%	0.0%	0.6%	17.9%	0.4%	1.9%	0.1%	33.3%	10.1%	0.7%	34.5%	100.0%	—

※排出量の合計・割合は、端数を四捨五入しているため本集計表の縦・横方向に合計した値と異なる場合があります。

(8) 行政区・業種別移動量

行政区・業種別の移動量の内訳は、表-7（次ページ）に示すとおりです。行政区別では南区の327トンが最も多く、次いで伏見区の211トン、右京区の171トンとなっています。業種別では、出版・印刷・同関連産業の320トンが最も多く、次いで繊維工業の181トン、化学工業の116トンの順となっています。

図-4 行政区別の移動状況（業種内訳）



*業種別の内訳については、移動量の多い上位10業種以外は「その他の業種」でまとめています。

表－7 行政区・業種別の移動量

単位：kg／年

業種名	行政区											合計	割合
	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見		
製造業	34	893	0	155,337	42,314	7,806	0	307,387	155,725	0	205,904	875,399	91.7%
食料品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
繊維工業	0	0	0	0	0	0	0	156,700	1,300	0	23,000	181,000	19.0%
家具・装備品製造業	0	0	0	0	0	0	0	97	0	0	0	97	0.0%
出版・印刷・同関連産業	0	0	0	151,221	0	0	0	44,800	123,005	0	500	319,526	33.5%
化学工業	34	0	0	88	42,044	2,376	0	46,613	2,426	0	22,558	116,140	12.2%
医薬品製造業	0	0	0	0	0	1,800	0	0	0	0	0	1,800	0.2%
プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	14,000	12,700	0	84,256	110,956	11.6%
窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	14,107	0	0	0	14,107	1.5%
非鉄金属製造業	0	0	0	0	0	533	0	948	0	0	0	1,481	0.2%
金属製品製造業	0	893	0	0	0	910	0	7,293	9,856	0	52,300	71,251	7.5%
一般機械器具製造業	0	0	0	2,570	0	0	0	0	0	0	0	2,570	0.3%
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	21,088	3,693	0	0	24,780	2.6%
輸送用機械器具製造業	0	0	0	0	0	2,187	0	0	2,745	0	11,000	15,932	1.7%
精密機械器具製造業	0	0	0	1,458	270	0	0	1,211	0	0	0	2,939	0.3%
医療用機械器具・医療用品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	530	0	0	12,290	12,820	1.3%
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
石油卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
自動車卸売業	0	0	1,200	0	0	0	0	0	5,600	0	0	6,800	0.7%
燃料小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
洗濯業	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	200	0.0%
自動車整備業	1,200	1,500	1,100	2,800	0	1,300	0	16,300	9,900	0	5,300	39,400	4.1%
商品検査業	0	0	0	2,900	0	0	0	0	0	0	0	2,900	0.3%
計量証明業	0	0	0	5,900	0	0	0	0	0	0	0	5,900	0.6%
一般廃棄物処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
産業廃棄物処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
高等教育機関	0	1,701	908	0	0	2,900	0	0	0	10,909	0	16,417	1.7%
自然科学研究所	0	0	2,300	0	0	0	1,500	3,600	0	0	0	7,400	0.8%
合計	1,234	4,094	5,508	166,937	42,314	12,007	1,500	327,487	171,224	10,909	211,204	954,417	100.0%
割合	0.1%	0.4%	0.6%	17.5%	4.4%	1.3%	0.2%	34.3%	17.9%	1.1%	22.1%	100.0%	—

※移動量の合計・割合は端数を四捨五入しているため、本集計表の縦・横方向に合計した値と異なることがあります。